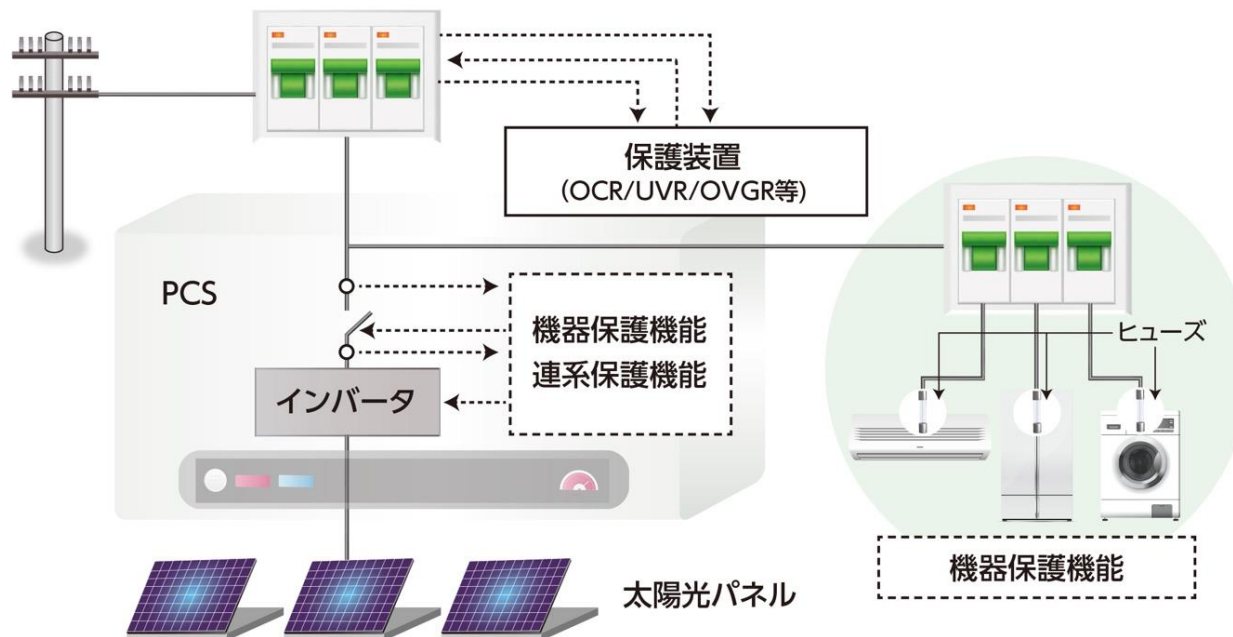


過電流・短絡保護

過電流は、電気設備や回路に設計許容値を超える電流が流れることを示します。短絡は、絶縁不良や導体の接触などにより、回路が非常に低いインピーダンスで接続され、大きな電流が流れる状態を示します。系統連系発電設備においては、自設備や系統側で過電流（短絡電流）が発生した場合に、設備の破損や電線の焼損の危険性を回避するために、許容時間以内に検出・遮断する保護装置の設置が必要になります。



自家発電設備や負荷装置自体もヒューズやブレーカーなどの過電流保護機能を備えていますが、自家設備構内の過電流・地絡を検知するOCR・OCGRや、系統側の短絡・地絡を検知するUVR・OVGRなどで保護することが求められます。